

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	4263 地域流域社会論			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	土曜2限				
教室	H202教室				
代表教員	堂前 雅史				
担当教員	堂前 雅史				
テーマと到達目標	本講義は岡上についていろいろな視点から学ぶ講義である。地域のモデルとして大学が面する岡上地域を取り上げ、また大地の区切り方として「流域」という、自然保護上も都市計画上も重要な概念を用いて、人間社会と自然との共生できる持続可能な都市文化のあり方を考え、地域・流域についての具体的な認識を深める。				
概要	授業の前半は岡上への複数回のフィールドワークと、ゲスト講師によるオムニバス形式で行われる。岡上地域、および鶴見川流域の社会や文化において知識・経験を有する多様なジャンルの講師をお招きし、それぞれの領域についての知見を繰り広げる講義をお願いする。それらを踏まえ、後半では自分たちで設定した課題に基づいた研究・調査などの成果の発表を入れる予定である。具体的な日程と各日の講義内容は天候やゲストスピーカーの都合などで変更することがある。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	序論 流域とは「川の近く」じゃない				対面授業
第2回	鶴見川流域としての岡上地域				対面授業
第3回	岡上フィールドワーク1 自然編 岡上梨子ノ木緑地や岡上の自然環境とその保全活動				対面授業
第4回	岡上フィールドワーク2 農村編 岡上の農村文化の史跡、文化と自然				対面授業
第5回	岡上フィールドワーク3 営農団地編 営農団地の試みと岡上の地形との関係を考える。				対面授業
第6回	岡上フィールドワーク4 宗教施設編 岡上神社、東光院、など、歴史、文化、民俗				対面授業
第7回	岡上フィールドワーク5 オープンガーデン				対面授業
第8回	ゲスト講師1 岡上の暮らし、過去と現在(予定)				対面授業
第9回	ゲスト講師2 岡上の暮らしともの作り(予定)				対面授業
第10回	岡上分館見学 & 文献調査 麻生市民館岡上分館の図書室収蔵資料の閲覧・学習。				対面授業
第11回	グループワーク1 それまでの授業内容を踏まえ、研究テーマ設定 & グループ分け				対面授業
第12回	グループワーク2 グループごとの調査・研究活動 1				対面授業
第13回	グループワーク3 グループごとの調査・研究活動 2				対面授業
第14回	グループワーク4 グループごとの調査・研究活動3				対面授業
第15回	研究・調査結果発表 (グループ毎) 各グループ毎の発表。				対面授業
成績評価の基準	参加状況が3分の1、発表が3分の1、最終レポートが3分の1の割合で評価する予定。				
履修にあたっての留意事項	フィールドワークがあったり、授業時間外もあれこれと調べることが出てくるうえに、グループ活動が軸となるので、それを面倒くさがらない人であることが受講条件。 ゲスト講師の講義では、ゲスト講師の都合によっては、遠隔地からオンラインで講義をしてもらおう回がありうる。 この科目は「地域流域プログラム」のコア科目である。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	鈴木勁介『私編岡上風土記稿』八月書館(2003)	教科書(ISBN)	978-4938140441
参考文献	岸由二『「流域地図」の作り方: 川から地球を考える』筑摩書房(2013)、鶴見川流域誌編集委員会編『鶴見川流域誌』(2003)、岡上民俗文化財緊急調査団編『岡上の民俗』川崎市教育委員会社会教育部文化課(1982)	参考文献(ISBN)	